

## ■成績評価について

学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修認定をしている。

### <授業科目の学修成果の評価について>

成績は、試験（学期末、後期末）、平常成績（課題作品、実技の評価）、授業態度（授業課題提出状況など）を加味した、総合的な評価として、適正な評価に努めている。各教科の成績評価は、その方法と基準をシラバスで明示し、その記載された割合で合計、点数化し、0から100点とする以下の5段階評価としている。

100～95点＝S、94～82点＝A、81～63点＝B、62～50点＝C、49点～＝D

\* Dは不認定となり単位を取得できない。

### <客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施について>

各教科の通年の成績評価を総合し、GPA（成績評価値）を算出している。算出方法は各教科の成績評価をS＝4点、A＝3点、B＝2点、C＝1点、D＝0点とし、それらに各教科の単位数を掛けた数値を、受講した教科の単位数を合計した値で割って平均値を出しGPAとする。また、年間の取得単位数が本校の定める単位数に満たない場合は、修了が認められず、進級、卒業が不可となる。

## ■卒業の認定について

### <修了認定>

各学年の修了認定については、規定の出席時数を満たし、試験等の成績評価により所定の単位数を超えた単位を取得していること、学費が完納されていることを原則とする。

各学年の修了時、1年間（1年次から2年次への進級、2年次から3年次への進級）で取得すべき単位数が不足した学生については認定会議で最終検討を行い、進級に問題の残る学生は必要に応じて保護者の方に来校していただき三者懇談を行う。

### <卒業認定>

卒業試験は実施せず、各学年の修了を卒業の条件とする。卒業資格条件の査定は、教職員による認定会議により行われ、卒業資格条件を満たした者には卒業資格を認定する。卒業時には専門士の称号が付与される。卒業するために必要な単位数は、ファッション造形科とファッション流通科においては60単位以上、ファッションマスター科においては90単位以上となる。